

竹の台から西神中央のまちづくりを考える「10の提案」

1	西神中央地域の現状と将来を見据えて、「住民参画による総合的・長期的なまちづくり計画」を策定する。 ※計画策定に引き続き、西神中央地域のまちづくりに長期的に関わってもらえる「西神中央まちづくりアドバイザー」を設置する。
2	住民同士がつながり、支えあうために、誰もが共に集い、交流できる場を作る。 (駅周辺、公園、管理組合集会所の活用など)
3	新しくできる芸術文化ホール、図書館の運営に住民が積極的に関われるようにする。
4	住民ニーズに合った商業施設(地区センター、近隣商業施設(〇〇プラザ))を整備する。 ※近隣商業施設のスーパーは危機的状況。空きスペース問題。
5	子育て世代をまちに呼び込むために、域内の学校園で特色ある取り組みを行ったり、設備や運営を魅力あるものにし、その魅力をアピールする。
6	リノベーション神戸第2弾に見合う、保育所・幼稚園入所者数を確保する。
7	小学校区単位で高齢者が相談できる窓口を設置する。 ※現在の「西神中央あんしんすこやかセンター」(地域包括ケアセンター)の配置ではマンパワー不足と地域との連携困難。
8	地域活動へのITの活用 住民組織の運営や活動の再構築、高齢者の見守り、子育て世代への情報提供、災害時に役立つITツールを開発したり、導入を支援する。
9	「ニュータウン住民」×「農」の拠点を西神中央のランドマークに。西区の特色である「農」とニュータウン住民が交流できる場を作る。 単なる農産物の販売場所ということではなく、魅力的な「農」を西神中央から発信する場とする。
10	まちに愛着がわくような「シンボル」的なものを作る。 (例) 道路に愛称をつける。オリーブを使ったまちづくりを西神中央全体に広げる。 (まずは西図書館・ホールから)

2月26日送付「わたしから神戸市への提案」 前書き内容

神戸市長 久元 喜造様

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は竹の台地域の活動にご支援賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月「リノベーション神戸第2弾」が発表されました。「西神中央活性化プラン～進化する上質なまち～」の中では、西神中央周辺の住機能の強化や西神中央駅周辺のリニューアルについて記載されています。神戸市が開発した大規模ニュータウン、西神中央地域も入居から40年近く経過し、施設や設備の老朽化、住民の急速な高齢化により様々な課題が出てまいりました。若い世代が流入することにより街が再活性化することに、大きな期待を抱いています。

一方、昨年10月にそごう西神店の閉鎖が発表され、住民からは「西神中央のブランド力が低下するのでは」という不安の声も多く聞こえてきます。

竹の台地域委員会では、西区役所の移転や図書館・文化芸術ホール、プレンティ広場の活性化の議論に際して、一貫して「駅周辺の、個々の施設・設備の話だけではなく、西神中央地域全体の視点から、土地利用・施設や設備の整備・まちづくりを計画的に取り組むべきではないか」と神戸市に提案してまいりました。

そこで、令和2年1月5日に開催した「竹の台円卓会議」(竹の台地域の自治会・管理組合・地域団体から45名が参加)で、「神戸市リノベーション第2弾～西神中央活性化プラン」について西区まちづくり課から説明を受けた上で、「竹の台から西神中央のまちづくりについて考える」と言うテーマでワークショップを実施しました。その際の住民の提案をとりまとめましたものを同封させていただきます。

全国的に少子高齢化が進むなか、リノベーションでこの地域を若い世代に魅力ある「住んでみたいまち」にすることは重要だと思います。しかし、住んだ人が「住み続けたいまち」にするには、住んでいる人自身が、まちを魅力的なものにしていく努力も必要です。

神戸市には、ハード面だけでなく、そのような人達を醸成し、つなぎ、動かす仕掛けを考えていただき、農村・工業地域・商業地域・学園に隣接するこの地域の優位性を活かしながらブランド力を高め、魅力あるまちになることにご支援・ご指導賜りたいと存じます。

令和2年2月26日
竹の台地域委員会

竹の台地域委員会 役員募集

竹の台地域委員会役員の任期満了に伴い、地域の皆さんから、今後2年間の竹の台地域の活動を支えていただく地域委員会の役員を募集します。

応募用紙(竹の台地域福祉センターに設置)に必要事項をご記入の上、竹の台地域福祉センターにご提出ください。(自治会・管理組合には文書でお知らせします)

役員の選任は、竹の台地域委員会規約第10条に基づき、4月26日(日)に開催される「令和2年竹の台地域委員会定期総会」にて行なわれます。地域のみなさまの積極的なご応募をお待ちしております。

公示期間 4月1日(水)～4月10(金)

竹の台地域委員会 総会のお知らせ

4月26日(日)10時～12時 地域福祉センターで

自治会・管理組合・管理会の会長、理事長の方はご出席お願いいたします。(総会へは、代理出席はできません)

竹の台から西神中央のまちづくりを考える「10の提案」を市長へ提出しました

令和2年1月5日(日)に開催された「竹の台円卓会議」にて、竹の台地域委員会に所属する45名の委員が上記テーマでワークショップを行いました。その結果は前号(第75号)の竹の台総合新聞に掲載しています。竹の台地域委員会では、ワークショップで出された意見を「竹の台から西神中央のまちづくりを考える10の提案」としてまとめ、2月26日、神戸市長宛「わたしから神戸市への提案」として、下記前書きとともに送付しました。同時に、当地域に関係のある西区選出の市議会議員4名に送付しました。神戸市からは3月5日付で下記のような回答をいただいています。



神戸市からの回答

神戸市長広聴第060388号
令和2年3月5日

竹の台地域委員会委員長
寛 進 様

神戸市長 久元 喜造

この度は、「わたしから神戸市への提案」で貴重なご提案をお寄せいただき、ありがとうございます。

西神住宅団地では西区庁舎の移転を契機の一つとして、文化・芸術ホール、新西図書館などの整備を進めるとともに、西神中央駅周辺のリノベーションに取り組み、エリア全体の魅力向上を図ることとしています。

さらに昨年度末に発表した「リノベーション・神戸第2弾」では、西神中央駅周辺における住機能の強化、新たな施設への歩行者動線整備、プレンティ広場のリニューアル整備、子育て世帯が集う場の整備など今後の取り組みについてお示ししました。ご提案いただきましたように、企業、そして住民の皆さまと一体になり、「住み続けたいまち」を目指してまいりますので、引き続き本事業へのご理解・ご協力をお願いいたします。

寛様からいただいたご提案は、今後の取り組みの参考にさせていただきます。また、お気づきの事がございましたら、ご提案いただきますようお願いいたします。

【担当】「わたしから神戸市への提案」について：市長室広報戦略部広聴課

竹の台総合新聞



2020年(令和元)年
3月16日月曜日
第76号

発行所
竹の台地域委員会
広報部

〒651-2274
神戸市西区竹の台
2丁目20-1

竹の台地域福祉センター内

電話 (078)992-6889
(地域福祉センター)



http://takenodai.net/

① 穴開けが不要になります



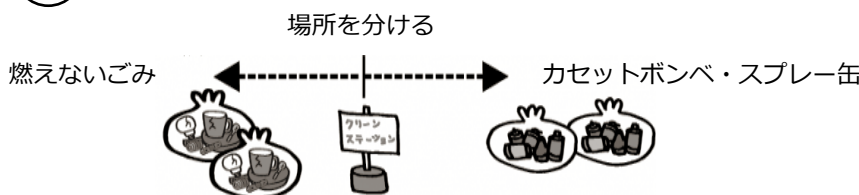
② 中身の見える袋でOK!

指定袋は使用できません



※約45cm×55cm
くらいまで
※透明・半透明の
レジ袋LLサイズまで

③ 燃えないごみと場所を分けて出してください



※中身を使い切って、午前5時～午前8時までに出してください。

竹の台の人口 8,972人 世帯数 3,853 15歳未満 1,094人 75歳以上 1,196人 令和2年1月神戸市住民基本台帳より

4月から

カセットボンベ・スプレー缶の
出し方が変わります

竹の台・マンション懇談会

地域から孤立しやすいマンション住民

2月2日(日)、竹の台地域福祉センターで、「マンション管理組合懇談会」を開催しました。参加者は15名。ただし、当該マンション管理組合からの参加者は2団体5名と、過去最低でした。(左表)

		マンション名	参加人数
1	2丁目	アルファステイツ	4人
2	6丁目	エクセルシティ	0
3	6丁目	ラ・フォルテ	1人
4	6丁目	アープル・ヴェール	0
5	6丁目	ジオ	0
6	6丁目	プラウド	0
合計			5人

今年度のテーマは「大規模マンションにおける防災の取り組みについて」。昨年10月の台風19号で首都圏の高層マンションが被災した際、停電が長引き住民が大変だったという事例や、避難所に行ったものの、どこも満員で転々とさせられた事例は皆さんもニュース等でご存知だと思います。

竹の台には6つのマンション管理組合がありますが、**実際に災害が発生した場合、居住者が多いマンション住民の方々がどう対応されるのかは、竹の台地域の災害対応を考える上で非常に重要です。**

平常時に、個々の管理組合と竹の台地域委員会とで災害対応の体制を確認しておくことが重要であると考え、今回のテーマ

として取り上げました。また、具体的な事例をお聞きした上で議論を深めたいと考え、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科の宮本匠先生に講師をお願いしました。

多い災害関連死

宮本先生からは、近年の災害の傾向としては、「災害関連死」、すなわち災害直接よりその後の避難生活で命を落とす割合が高いこと。「避難所が足りない」「避難所が予定通り使えない」「避難所に行けない」などで在宅避難や車中泊を選ぶ人も多く、その人達は見えにくく孤立化しやすいこと。

災害時支援が集まりにくいマンション

熊本地震や大阪北部地震で見えてきたことは、外見の被災が少ないマンションは支援が集まりにくいことや、ただでさえ在宅避難は孤立しがちなのにマン

ションでは平常時の隣近所付き合いが少なく戸建て住宅より孤立しやすいこと、そのためには共用部分での避難生活等について考えておくこと。

避難所運営も重要だが、避難所は絶対足りないことも前提に、避難しなくて良いようにまずは家具の固定をしておくこと、など、有意義なお話をお聞きすることができました。

また、西神中央あしんすこやかセンターの松下所長からは、センターでも災害時要援護者の検討会をしているが、災害時は1対1対応はできないので、地域での対応をお願いしたいとのことでした。

必要な地域との連携

しかし、役員全員の参加を呼び掛けたものの、参加していただけなマンションの方とは、情報の共有はもちろん、議論もできません。マンション管理組合の危機管

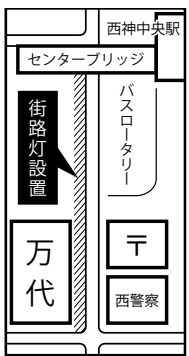
理の中に、「地域との連携」はないのでしょうか。災害時には、個人・家族・一管理組合だけでは対応しきれないのがわかったのが、25年前の阪神・淡路大震災の教訓であるはずですが、感染症も含めさまざまな災害が多発している今、マンションでの災害対応や危機管理体制について、お住まいの住民一人ひとりが責任を持つて考え、アクションを起こしていただけないでしょうか。



参加者が少なかった懇談会

センターブリッジ万代 歩道が明るくなります！

明るい町への取り組み



平成28年7月のスーパー万代開店後、センターブリッジ西側から万代までの歩道の人通り(特に夜間)が増えましたが、周辺環境は前のまま。道路側とマンション側の樹木が生い茂り、暗くて見通しが悪く、毎年夏と冬に行なっている「竹の台夜間パトロール」でも、防犯上の問題が指摘されていました。

3月1日に「照明灯を設置する工事を予定しています」という看板が設置され、その後4基の街路灯が設置されました。西建設事務所が確認したところ、「以前からの要望もあり設置に至りました。」この新聞が皆さんのお手元に届くころには、通電の工事も終わって照明がついているかもしれません。

竹の台小や西神中への通学路(通称「あかみち」)にも足元灯が設置される予定です。

住民のみなさまには、引き続きご自宅の門灯の点灯で、竹の台全体の防犯力アップにご協力をお願いいたします。

同時に生い茂っていた街路樹も剪定され、見通しも良くなりました。

街路灯設置要望書については、昨年末の夜間パトロールに参加された自治会・管理組合の担当者の方に提出協力をお願いしました。

その結果、竹の台では、戸建て自治会2団体、戸建て管理組合3団体、マンション管理組合1団体、合計6団体から要望書が提出されているそうです。順次現地調査ののち、工事に取り掛かるとのことでした。また、竹の台小や西神中への通学路(通称「あかみち」)にも足元灯が設置される予定です。



早く明るくな～れ！

西神中央 文化・芸術ホール等整備事業

文化施設(ホール・図書館)に関する説明会

美賀多台1丁目に建設予定の文化施設(文化・芸術ホールと図書館)についての説明会が、2月25日(火)プレンティホールで開催されました。

2月28日(金)、29日(土)にも開催予定でしたが、新型コロナウイルス対策の影響で延期になりました。再開の日程が決まりましたら、回覧やホームページでお知らせいたします。

着工予定日 令和2年11月1日
完成予定日 令和4年3月31日
建物の階数 地上3階 地下10階
駅に面した東側にホール、西側が図書館になります。



全体の外観

当日は、ホールと図書館についての運営方針や具体的な機能等についての説明後、質疑応答が行われました。

当日は、ホールと図書館についての運営方針や具体的な機能等についての説明後、質疑応答が行われました。



ホールと図書館をつなぐ共用部にアートや楽器、芸術にまつわる本等が並べられたアートウォールを設置



■神戸市西神中央文化・芸術ホール等整備事業

初めて ボランティア説明会開催

「地域のお仕事をお手伝いしたい」「お友達(顔見知り)を作りたい」「会社の仕事で身につけた特技を地域のために役立てたい」「学校で学んだことを地域で実践したい」といった方を対象に、ボランティア説明会・相談会を2月22日(日)実施しました。(参加者8名)

写真を使って竹の台地域の活動を説明させていただき、その後、参加の理由をお聞きしました。

・人との関わりが少なくなり、不安

・現在受講している講座の内容を活かして地域でお手伝いできればいいな



今後継続して開催しますので、ご参加をお願いします

徳島市コミュニティ協議会と交流会

2月13日(木)徳島市のコミュニティ協議会の方24名が竹の台地域委員会に研修に來られました。

徳島市では、平成29年度から「新たな地域自治協働システム構築事業」の中で、4地区をモデル地区に指定し、活動や計画の策定を行い、その中で、自主財源としてコミュニティビジネスへの取り組みも考えておられるようです。

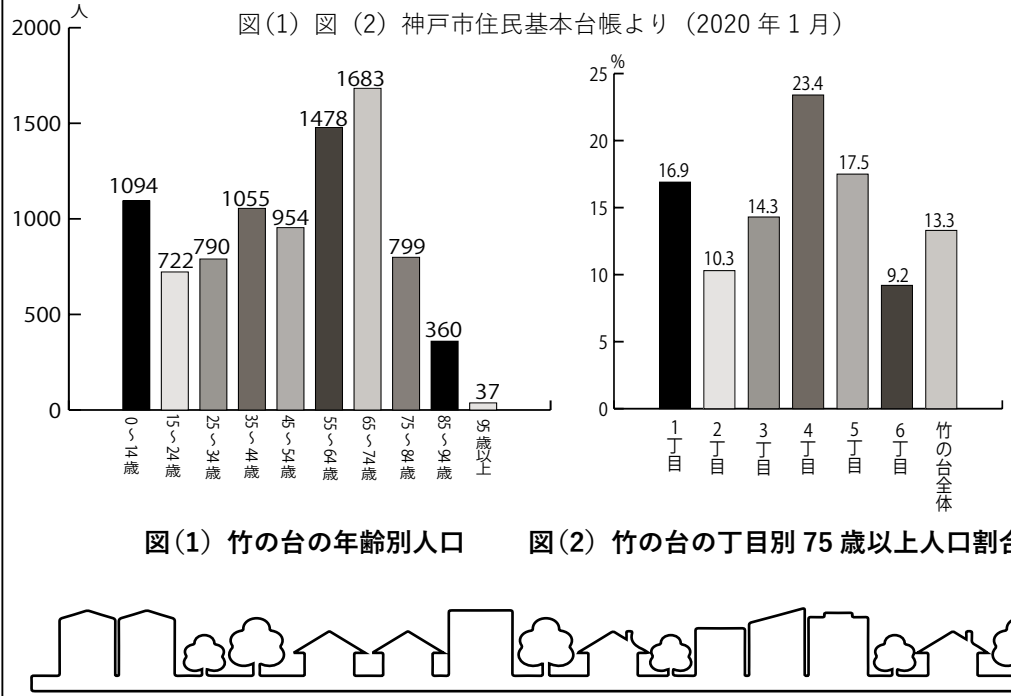
竹の台地域委員会の組織や活動内容、たけのパークで行っているコミュニティビジネスの取り組みを発表させていただきました。

行政のシステムが違うので、一概には言えませんが、徳島市でも、自治組織のリーダーや後継不足、行政からの押し付け仕事が多い、その上、自主財源をコミュニティビジネスで確保できるのか、という悩みがあり、竹の台地域に対して、地域活動を担う組織に大切なのは「事務局機能」で、現在の事業を継続するには、ここは無償ではなく対価を払うべきではないか、という意見もいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。

ホームページリニューアルのお知らせ

ただいま、広報部では、竹の台地域の情報をより適切にわかりやすく、タイムリーに発信できるようホームページのリニューアルを進めています。住民の皆様のご意見を集約するアンケートや、地域の緊急情報の発信を新たに加え、スマホでも見やすい画面を目指しています。

4月26日(日)の総会で、公開できるようにしたいと考えています。



高齢にかかわる勉強会

『めめせーHappy100年人生』
ふりかえり

第1章 認知症基礎編

高齢者の4人に1人が認知症になると言われています。本人はもちろんですが、世話をする家族や子供世代も大変になってきます。竹の台地域でも9人に1人が75歳以上、丁目別(図2)では、多いところで75歳以上人口が23.4%でした。

そこで、竹の台地域委員会では、平成30年6月から「めめせーHappy100年人生」と題した「高齢にかかわる勉強会」を各分野の専門家をお招きし、これまで20回を重ねてきました。

これからの超高齢化社会において、「認知症」は避けられない“病(やまい)”となってきましたが、地域で情報共有に努め、個人として、また地域全体として『介護サービスを受けやすい雰囲気づくり』を進め、正しい知識を持って、これからの社会に対応できる「まち」をめざしていきたいと考えています。

① 認知症について

早期受診・早期治療
が大切

「認知症」とは、様々な病気が原因となって生じる症状の総称です。神戸市では65歳以上の高齢者43万人中、12万人が認知症又は軽度認知障害(MCI)と推計されており、また、国の統計では、65歳～74歳の2.9%、75歳～84歳の13.6%、85歳～94歳の41.4%、95歳以上の79.5%と、加齢とともに認知症の人が急増しています。

**竹の台では
推計336人**

この割合で上の(1)の竹の台の年齢別人口を割り戻すと、65歳～74歳で49人、75歳～84歳で109人、85歳～94歳で149人、95歳以上で29人となり、合計336人の方が、認知症または、軽度認知障害といことになります。

「認知症」の50～70%がアルツハイマー症、15～25%がレビー症と言われており、他に脳梗塞等の血管性のものなどもあります。現状では直すことはできませんが、進行を遅らせる薬もあるので、早期受診、早期治療

が重要です。病気が理解できる時点で受診し、少しずつ理解を深めて対応していくことで、生活上の障害を軽減することができます。

神戸市では簡易検査や精密検査の費用の負担をなくす制度ができ、早期発見がしやすくなりました。

第15回 神戸市出前トーク
「認知症になっても
安心して暮らしていけるまちへ」

どんな症状?

共通の「中核症状」としては、記憶障害、見当識障害(季節感が分からなくなるなど)、実行機能の障害(2つ以上のことをうまく処理できない)などがあり、その結果として、うつ状態、意欲の低下、徘徊などの「行動・心理症状」が現れます。昔のことはよく覚えていたり、五感や情緒は豊かなど、認知症に影響されない部分も多くあります。

ター」に相談するなど、負担にならないようにすることが大切です。

住民としての接し方

また、毎日インターフォンを鳴らして、「元気ですか」と顔をあわせ安否確認をしたり、ごみ出しや買い物のお手伝い、出会ったときに優しく声をかけることなどが地域住民としての応援になります。地域の役員や「あんしんすこやかセンター」などと情報共有して、「人と人のつながり」の中で解決法を見出していくことも重要です。

② 介護保険の手続きとサービス

(第3回、第10回、第18回実施)

介護保険料を払っていただければ、65歳になった時点で「介護保険証」が自宅に届きますが、介護保険が適用されるサービスを受ける場合には、市役所に申請し、認定を受ける必要があります。

まずは、申請しよう

介護認定の申請書は、「あんしんすこやかセンター」にあります。

あんしんすこやかセンターは、申請の相談に乗るほか、場合によっては申請書を自宅に届けてくれます。

申請書に必要事項を記入し、介護保険証とともに郵送すると、主治医の意見聴取(事前に相談し申請する旨を伝えておく)や、訪問調査を経て訪問調査を経て、「要支援1・2」「要介護1～5」「非該当」が1カ月～1カ月半程度で決定されます。

主治医への相談や訪問調査の際には、日頃の言動などをメモして渡すなど、何ができないかを具体的に示すことが大切です。

介護度で違うサービス

「該当」になれば、「要支援1・2」「要介護1～5」の段階に応じて、受けられるサービスの種類や回数等が異なりますが、保険制度により1割負担(高額所得者は3割負担)だけでサービスを受けることができます(範囲を超えると10割自己負担)。

居宅サービスと施設入所

介護保険のサービスは大きく居宅サービスと施設入所に分かれます。

居宅サービスには、

- ①訪問介護・身体介護(入浴補助、おむつ換えなど)や生活支援(掃除、買い物、調理など)
- ②福祉用具(歩行器、ベッドなど)の貸与又は購入
- ③住宅改修(手すり取り付け、段差解消など…工事の前に区役所に申請)
- ④通所介護・デイサービス(入浴、食事、機能訓練など)やデイケア(理学療法士等による機能回復訓練など)、ショートステイ(短期の宿泊を伴うもの)
- ⑤訪問看護(看護師による血圧チェック、服薬管理など)や訪問リハビリなどがあります。

また、施設入所の「施設」としては、特別養護老人ホーム(特養)や老人保健施設(老健)などがあります。

具体的にどんなサービスを受けるのがよいかについては、ケアマネージャーが聞き取り、整理し、提案してくれますが、最終的に決めるのは、サービスを受ける人になります。

負担減額制度もあります!

高額になった場合、上限を超えた金額が後から支給される「高額介護サービス費支給制度」があります。(1世帯あたりの上限額は月44,000円、市民税非課税世帯は24,600円)

また、市民税が非課税で貯金も少ないといったケースでは、ショートステイや施設入所時の食事代や部屋代(これらは介護保険が適用されません)を軽減する「負担限度額認定制度」もあります。

どちらの制度も利用する際には区役所への申請が必要ですので、注意してください。

③ あんしんすこやかセンターとえがおの窓口

(第2回、第3回実施)

あんしんすこやかセンター

「あんしんすこやかセンター」とは、神戸市の「地域包括支援センター」のことで、介護や福祉を専門とする民間の事業者に委託されています。西区に9か所あり、竹の台地域については「西神中央あんしんすこやかセンター」が担当しています。

65歳以上の方の介護相談のほか、介護予防・認知症・権利擁護の普及啓発などが主な業務です。

えがおの窓口

「えがおの窓口」は、「指定居宅介護支援事業所」のことで、西区内にも多くの“窓口”があります。

介護認定が「要介護」となれば、「えがおの窓口」と契約し、専門のケアマネージャーについてももらいます。具体的にどのようなサービス(訪問介護、デイサービス、ショートステイなど)を受ければ良いのかの提案や、各施設の紹介などは、このケアマネージャーがしてくれます。

介護認定が「要支援」の場合は、「あんしんすこやかセンター」と契約し、こちらのケアマネージャーと相談等をするようになります。「要介護」の場合の「えがおの窓口」の紹介なども、「あんしんすこやかセンター」でももらえます。

西神中央あんしんすこやかセンター

・月々金(9時～17時)
※祝・12月30日～1月3日は休日
・電話996-23376
・土曜は事前予約が必要
・西神中央の区民センタービル(出張所のあるビル)の6階

第2章

認知症中級編

④ 認知症の進行と症状

(第14回、第16回、第18回実施)

発症年齢には個人差

加齢とともに神経伝達物質が減少し、脳内で情報が伝わりにくくなるので、誰でもいつかは認知症になると言っても過言ではありません。ただ、その発症年齢には大きな個人差があり、「発症や進行を遅らせるための予防」をすることはできます。

予防には脳内の血流を上げることが重要で、人とふれあうなどの会話や刺激が効果的です。一般に高齢になると、足腰が痛くなり、外出が減って、閉じこもりがちになります。そうすると、刺激が減って生活のリズムも狂い、認知症になりやすくなるといえます。

③日常生活は正常にできるという状態で、65歳以上の高齢者の4人に1人が該当するといわれています。



ら認められる

②客観的に1つ以上の認知機能の障害(記憶や見当識(時間や場所などの認識))が認められる

③日常生活は正常にできるという状態で、65歳以上の高齢者の4人に1人が該当するといわれています。

予防するとは?

MCIの状態はやがて認知症へ進行していくので、進行を遅らせるためには『運動』と『食事』が大切です。

進行を遅らせる薬もありますが、効かない場合も多いので、飲むかどうかは医師の判断になります。

①寝つきが悪くなったり、眠りが浅くなったりする

②味覚や痛覚、嗅覚が鈍くなる(アルツハイマー症では特に匂いが分らなくなる)

③うまく歩けなくなったり、寝たきりの状態になる

④気持ちが落ち込んだり、何かをするのがおっくうに感じられるようになる

⑤立ち眩みや脈拍が不安定になったりするといったことが起こります。

軽度認知症って?

認知症一歩手前のMCI(軽度認知障害)は、①物忘れの訴えが本人や家族か

認知症の症状

認知症の初期には、家の整理ができずに生活リズムが狂ったりします(ケースバイケースで人によって異なる)。本人も周りの人も認めたくない気持ちがあるため、鬱になることもあります。

初めは物がないと探し回ったりすることが多いのですが、症状が進むと、季節が分からなくなったり、トイレの場所が分からなくなったりしてきます。料理の味付けが無茶苦茶になる、あるのに同じものを買う、買い物をしてもお金を払わない(払うことを忘れる)など、人により、様々なトラブルが生じてきます。

加齢に伴う「普通の物忘れ」は、部分的に思い出せなくなるだけで忘れたことを認識できているのですが、認知症の物忘れでは、体験したことをスッポリ忘れ、そのこと(忘れていること)自体を認識できない状態となります。



⑤ 認知症の診断

(第1、2回、第15回、第16回実施)

神戸市では、認知症対策に特化した「認知症の人にやさしいまちづくり条例」が平成30年4月から施行されています。この条例のポイント「早期診断体制の確立」と「認知症の人が起こした事故に関する救済制度の創設」です。

創設」です。

「早期診断」の第一段階は、地域の医療機関(竹の台では岡村医院と浅野医院)での簡易検査です。ビタミンB12欠乏症や甲状腺機能の低下など、認知症と似た症状の出る病気もありますが、これらは早期発見により直すことができます。

①本人の意思を尊重できる
②進行の抑制に努められる
という利点があります。

65歳以上の人は年に1回、電話で神戸市(総合コールセンター33333330)に申し込めば、無料の受診券が送られてきます。それから指定の医療機関に受診の予約をします。

①日時・場所・数値計算などでの認知機能のチェック
②問診票での生活への支障のチェックなど

により客観的に行われます。認知症などの疑いがあると判定されると、当医療機関からの紹介状により、第二段階の精密検査(竹の台近辺では西神戸医療センター)に進みます。



精密検査では頭部のCTやMRIの画像検査などにより、認知症の有無(アルツハイマー型、血管性等の病名まで)と、軽度認知障害(MCI)に分けて診断を行います。検査費用の自己負担分は、後日、全額助成

されます。その手続は病院ででき、このときに「事故救済制度」への申し込みも行います。

心配な家族が「認知症の検査など絶対に受けたくない」と言っている場合は、「神戸市が高齢者に勧めている無料の健康診断があるので一緒に来よう」

「主治医の〇〇先生が言うてるから、一度、健康診断をしてみよう」などと誘ってみるのも一案です。あんしんすこやかセンターでは、医療的なことは言えませんが、このような相談に乗ることもできます。

①日時・場所・数値計算などでの認知機能のチェック
②問診票での生活への支障のチェックなど



神戸市認知症の人にやさしいまち「神戸モデル」
認知症診断
無料
※医師による専門検査



⑥ 認知症に関する相談や対応の事例

(第2回、第5回、第15回実施)

認知症(気味)の人が増えている人が増えていきます。あんしんすこやかセンターへも様々な相談が寄せられています。

あんしんすこやかセンターへの相談事例

家族からの相談

家族からの相談事例では、急に怒りつづくなった、家事をしなくなった、味付けがおかしくなったなどの言動や行動の変化が多いのですが、卵を毎日買ってくる、散らかっているから家

に来るなど言う、客が来ているのに来ていると言うなどの事例もあります。

盆や正月明けには、遠方に住んでいる「1人暮らし」や「夫婦ともに認知症」の親についての子供世代からの相談が多くなります。遠くの親族より、近所の声かけなので、親にはできるだけ近所の人と仲良くしてもらい、帰省した時に近所の人やその地域の民生委員などをお願いしておくくらいいしかアドバイスできないのが実情です。

住民からの相談事例では、部屋が分からなくてマンションの周りをうろろろしている、スリッパやバジャマでうろろろしている、勝手に近所の家に入る、毎日大量の買い物をしているなどの事例があります。

警察からの相談
警察からの相談も増えていきます。一つは「徘徊」。名前は言えても住所が言えない人などが警察に保護され、センターに情報があるかといった問い合わせがあります。もう一つは「妄想による通報」。家に人が押しかけてくるなどの通報が警察に入ってきたものの、そのような事実はなく、職員が行くまで警察官が見守っていてくれるという事例も増えていきます。

銀行からの相談
銀行からは、何回も通帳の再発行に訪れ、あぐく銀行員が金を盗んだと言われて困ったという事例がありました。

病院からの相談
病院からは、健康保険の適用関係が理解できず支払いができないといった相談や、病気で入院が必要になった認知症気味のご主人から、「妻が認知症なので入院できない」と入院を拒否され、困った事例がありました。

まちで見かけたときは

このような方をまちで見かけたとき、どのようにすればよいでしょうか。まずは、

①「気づいてあげる」、「声をかけてあげる」ことが大切です。また、

②声をかけるときは、安心させ、落ち着かせるように、顔を見ながら声をかける、
③「どこいくの? 暑いのにどうしたん? この辺に知っている人はいるの?」など、優しく声をかける、
④必要に応じて、自分の家で休ませる
など、安全面に気を配ったうえで警察などに連絡することが大切です。



西区徘徊SOSネット

西区徘徊SOSネット「みまもん」は、地域の協力者にメールを送り、徘徊者の情報を求めようとするもので地域の皆さんに登録(<https://www.nishinel.jp/sos/>)をお願いしています。また、徘徊の可能性のある方を事前に登録して、警察やあんしんすこやかセンターで情報共有する「高齢者安心登録事業」もあります。

神戸市の事故救済制度

神戸市の「事故救済制度」は、精密検査で認知症と診断された事故救済制度の申し込みがあった人を対象に保険に加入(保険料は市が負担)し、本人や家族

が損害賠償請求された場合、保険金から支払うという制度です。さらに認知症の人が起こした事故で被害を受けた人に「見舞金」を支払う制度もあります。

事故を起こしたときは、
認知症事故救済コールセンター
24時間 365日対応
0120-259-315
【じ(2)こ(5)きゅう(9)さ(3)い(1)こ(5)うべ】
へ連絡してください。

このほか、GPSによる居場所探しや駆けつけサービスを利用(有料)することもできるようになっています。



認知症に関する総合電話相談を受けるのは
「こうべオレンジダイヤル」
078-262-1717
土日祝日などを除く9:00~17:00

■各回の詳細議事録は竹の台地域コミュニティサイト「各種ファイル」に



次号では、
・認知症予防
・高齢者向け住宅と施設
・財産の管理と引き継ぎ
について掲載したいと思っています。

そいけ！

たけの台

ガーン

ユイP

テストが 終わった3日後

テスト返しの日

あーテスト返しはー

けこう自信ある

最高は

91点です

はーい今日はテスト

返します

771平均は54点

あー

学年は58点

あー

よし、

771 ドンッ子

せん

え

0=0

ご存知ですか？遺言書の保管制度が新設されます

～連載 5～

こんにちは、高齢対策専門の司法書士仲島拓郎です。

令和2年7月10日から法務局が遺言書を預かる制度が始まります。「それがどうした!？」と思われる方もいるかもしれません……。まあ、そう言わず聞いてください。

この制度が専門職の間で注目されるのには理由があります。認知症や相続といった高齢に関わる問題に接していると、「せめて遺言書が一通あれば・・・」という場面が、よく出てくるのです。どういう方に遺言書が必要なのかは前回の連載で触れていますので、気になる方はご参照ください。

これから高齢化が進む中で遺言書の必要性は高まってくるでしょう。確実性と安全性の点から、公正証書で遺言書を作成することをお勧めします。しかし、普通は公正役場など馴染みがないでしょう。では法務局は馴染み深いのかという問題は置いておきましょう。いずれにしても、これまでより選択肢が増えることは確実です。

主なメリットは2つあります。

- ①費用が安いこと
- ②手間が減ること。

今のところ法務局による遺言書保管の手数料は公表されていません。

しかし、公正役場よりは安くなるはずですが、また証人が不要となる点も使いやすいです。少なくとも、たんすや仏壇にしまっておくよりは、はるかに良いのは間違いないでしょう。法務局による遺言書の保管制度が、実際にどれだけ普及するのかは、これからの運用に注目していきたいところです。

全6回の連載も次で最後となります。これまでの内容をふりかえると、全く収まらないと思うので止めておきます。

今回は、遺言書をはじめとする、相続などによる財産の引きつぎや認知症対策についての全体の考え方に触れます。ひとことで言えば、「はみがきと同じ」です。



事前の相続・認知症対策
「神戸・親の高齢対策サポート」
nakajima-takuro.com
仲島司法書士事務所
神戸市垂水区霞ヶ丘 6-7-14
078-223-9736
Email:w21st2001@gmail.com

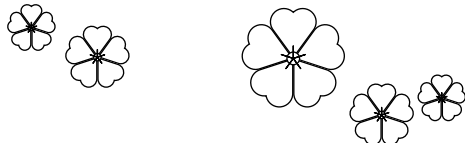
新型コロナウィルス対応
児童館学童保育に
センター貸出しへ

3月3日(火)～15日(日)まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、竹の台小学校、西神中学校が閉校になりました。

この措置に伴い、竹の台地域福祉センターを所管する神戸市の市民参画推進局と児童館を所管することも家庭局とが協議の

上、西区役所を通じ、地域福祉センターを児童館の学童保育の子どもたちに貸出して欲しいとお願ひがありました。幸い、期間中の学童保育に来る子どもたちの数は普段の半分程ですが、少しでも広く場所を使ってもらいたいものです。竹の台地域では、福祉セン

ターの他、たけの台も神戸市の指導により、閉館となりました。さらに、予定していたさまざまな地域の行事も中止になりました。この期間中、まちから子どもたちの声が消え、ゴーストタウンになってしまったかのような様子です。いつまで、この状態が続くかわかりませんが、一日も早くもとの「竹の台地域」に戻るよう祈りたいと思います。



漫画作者募集

今号は西神中1年"ユイP"さんの作品です。作品募集中。作品作成の際は、裏も白い紙に、黒のサインペンではっきりと書いてくださいね。

家

木

クラブの新しい仲間に加わり、体力づくりにチャレンジしてみませんか。興味のある方、見学したい方はお気軽に各クラブの連絡先の方までお問合せください。

スポーツ 21 竹の台クラブ

会員募集

ママさんバレーボール

シニアばかりのチームですが、みんな元気いっぱいです。

《活動日時》
毎週火曜日
午後7時～8時30分

《活動場所》
竹の台小体育館

《対象者》
大人の女性

《部員数》 9名
《活動費》 月100円
《連絡先》 早川 (TEL992-8790)

西神少年団野球部

子どもたちの健全育成を目的にしています。仲間作りや体力作りを楽しみましょう！

《活動日時》
毎週土・日曜日
・祝日 午前

《活動場所》
竹の台小グラウンド 他

《対象者》
竹の台小児童
美賀多小児童

《部員数》 40名
《活動費》 2500円(1・2年生1500円)
《連絡先》 4年生以下
中嶋 (TEL090-5244-9200)

西神戸ラグビースクール

《活動日時》
毎週日曜日
午後1時30分から
2時間半程度(変更あり)

《活動場所》
竹の台小グラウンド他
(幼児・小学生)
県立星陵高校グラウンド他
(中学生)

《対象者》 幼児・小学生・中学生
《活動費》 年12000円(半期ごとに6000円納入)
《連絡先》 メール nishikobers1989@yahoo.co.jp
URL:http://nishikobers.web.fc2.com/

グランドゴルフクラブ

ただいま、定員オーバーのため募集は休止にしています。

《活動日時》
毎週土曜日 午前

《活動場所》
竹の台小グラウンド

《対象者》 大人

《定員数》 24名

《活動費》 月200円

《連絡先》 矢後 (TEL991-3748)

竹の台卓球クラブ

皆で楽しく活動をしています。お気軽にご参加ください。

《活動日時》
毎週土曜日
午後6時30分～8時30分

《活動場所》
竹の台小体育館

《対象者》 18歳以上
男女

《部員数》 10名
《活動費》 年間2300円(お試し2か月500円)
《連絡先》 大西 (TEL991-7529)

9人制バレー(皮)<美竹SC>

一緒に楽しく体を動かしましょう。入部心よりお待ちしております。

《活動日時》
毎週火・木曜日
午後6時45分
～8時30分

《活動場所》
竹の台小体育館他

《対象者》 西神中学校区主婦の方

《部員数》 15名 《活動費》 月1000円
《連絡先》 土師(はじ) (TEL090-5897-2397)

竹の台ソフトボール部

若手から年配まで楽しくソフトボールをやっています！
部員募集中！

《活動日時》
毎週日曜日
4月～10月
11時～13時
11月～3月
10時45分～12時30分

《活動場所》
竹の台小グラウンド他

《対象者》 学生～大人

《部員数》 15名 《活動費》 年間3000円
《連絡先》 横田 (TEL991-3981)

竹の台バドミントンクラブ

初心者をはじめそれぞれ自分に合ったレベルで楽しんでいます。見学・入部は随時受付

《活動日時》
毎週土曜日
午後1時～3時
毎週日曜日
午前10時～12時

《活動場所》
竹の台小体育館

《対象者》 小学生
～成人男女
小学生は保護者同伴

《部員数》 18名
《活動費》 月500円+年3000円
《連絡先》 米田 (TEL080-2921-6130)



竹の台カレンダー

■大型ごみの収集は受付センターに申込みを!
☎ Tel.392-7953 Fax.392-5500
インターネットでの24時間受付も開始しました。→
<https://www.ogatagomi.city.kobe.lg.jp/eco/view/kobe/top.html#>



スマホでつながる竹の台情報! 検索または2次元バーコードから



[facebook](https://www.facebook.com/takenodai)
<https://www.facebook.com/takenodai>
フェイスブックは「竹の台地域委員会」で
色々な情報発信をしています!



[twitter](http://twitter.com/takenodai)
<http://twitter.com/takenodai>
ツイッターもあります。タケくんが
つぶやくよ!フォローしてくださいね。

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
3月	3/22	23 水	24 木 ●小学校卒業式	25 金	26 土	27 日	28 月 ●おやじの会
	29 火	30 水	31 木	4/1 金 ●パンブークラブ (高齢者食事会)	2 土	3 日	4 月
	5 火	6 水 ●北公園掃除	7 木 ●小学校離任式 ●西公園掃除	8 金 ●小中始業式 ●中学校離任式	9 土 ●小中入学式	10 日	11 月
	12 火	13 水 ●中公園掃除	14 木	15 金	16 土	17 日 ●子育てサロン	18 月 ●小学校施設開放 運営委員会総会 ●第21回Happy100年人生
4月	19 火	20 水 ●北公園掃除	21 木 ●西公園掃除	22 金	23 土	24 日	25 月 ●おやじの会
	26 火 ●竹の台地域委員会総会 ●地蔵公園掃除	27 水 ●中公園掃除	28 木	29 金 ●昭和の日	30 土	5/1 日 ●子育てサロン	2 月
	3 火 ●憲法記念日	4 水 ●みどりの日 ●北公園掃除	5 木 ●こどもの日	6 金 ●振替休日	7 土	8 日	9 月
	コミュニティ喫茶たけのパーク休業(5月3日~5月6日)						
	10 火	11 水 ●中公園掃除	12 木 ●西公園掃除	13 金 ●パンブークラブ (高齢者食事会)	14 土	15 日 ●子育てサロン	16 月 ●西区みどりと太陽のまつり ●第22回Happy100年人生
	17 火	18 水 ●北公園掃除	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月 ●おやじの会
5月	24 火 ●西神NT6防コミ合同 防災リーダー研修会 (美賀多台小学校) ●地蔵公園掃除	25 水 ●中公園掃除	26 木 ●西公園掃除	27 金	28 土	29 日	30 月 ●竹の台小運動会
	西神中トライやる(5月25日~5月29日)						

燃えるごみ

容器包装プラスチック

燃えないごみ

缶・びん・ペットボトル

カセットボンベ・スプレー缶

※注意:混ざらないで! 燃えないごみと、カセットボンベ・スプレー缶は別の袋をお願いします。

西神の氏神様

諏訪神社

初宮詣・七五三詣・新車清祓・厄除祈願他
各種祈祷・出張祭ご奉仕致します

西区植谷町長谷75
TEL:078-991-1034

※ご祈祷等のお申込みは
予めお電話下さい

編集後記

この編集後記を書いている3月9日現在、新型コロナウイルスはまだ全盛期。巷ではマスクはおろか、トイレトベーパー、はたまたキッチンペーパーまでスーパーや薬局の陳列棚から消える始末。今朝も西神中央駅前のドラッグストアには長蛇の列ができていました。この光景に既視感がある人も多いはず(年齢がバレますが)。昭和48年(1973年)のオイルショックです。当時私は小学校低学年で、しかも自宅はまだ水洗トイレではなく、「トイレトベーパー」などと言う「洒落た」紙も使っていなかった(いわゆる「便所紙」というやつ)ことと、母親が、いわゆる戦時中から戦後のモノの無い時代を生きってきた人で、なければ何とかなる(する)という強い信念を持っていたため、騒動とは無縁でした。先日電話で母とこの話をしたところ、「いやー、

情報提供・投稿
おまちしてます

・紙面充実のため、みなさまの投稿をお願いします。地域のでき事、詩歌、感想、問題提起、身近な疑問、何でも結構です。
・漫画作者募集
・小中高生どなたでもOK。
新聞製作にご協力ください。
ご連絡は、下記まで。
①地域福祉センター
FAX 99216889
(9時~12時 火曜日は休館)
②竹の台コミュニティサイト
<http://takenodai.net>
〔竹の台〕で検索)
お問合せフォームから

5丁目 N・H

当時6畳一間いっぱいトイレトベーパーを買った人がいてねー。その人は今でもそのトイレトベーパーを使ってるんだって。」私「……?。!!!!」。

当時買ったまま買込んだトイレトベーパーを、今だに使っている人がいる?そりゃ腐らないけど、紙質も悪いし、転売もできないだろう。しかも6畳一間がトイレトベーパーのために50年近く塞がれていたなんて。悲劇であり、喜劇である。不安になるのはわかりますが、不安に駆られて一生分のトイレトベーパーを買うことで、困る人や、つられる人がいることを忘れずにいたいものです。

それよりも、災害時や感染症に備えて普段から備蓄をしておく事(厚生労働省は新型インフルなどの感染症に備えて「2週間の備蓄を」と啓発していました。)や、困った時に助けあえる関係を普段から作っておくことが大切ではないかと思えます。この機会に、ご家庭の危機管理対策について一度話し合ってみませんか。